

週刊 伊藤農園

伊藤農園が開園しました。

3月11日に一部の方に集まっていたいただき、ジャガイモ、さといもの植え付けを行いました。みんなが集まったの作業はこの日が初めてとなりました。園主の伊藤さんの言うとおりに、ここで日ごろのストレスから開放される楽しい農園になるといいですね。

今週の作業（平成18年4月8日）

こまつな	元肥を施した畝に、足で2本の条をつけそこに種を蒔きました。
こかぶ	こまつなと同じ作業です。
トマト	元肥を施した畝に、ビニールマルチをし苗を植える場所の準備をしました。
すいか	トマトと同じ作業です。

写真館



鍬の使い方の指導

耕運機で中耕

米ぬかを施用

マルチング

トマト、すいかに米ぬかを施しました。米ぬかを使うと果実が甘くなるということです。収穫が楽しみです。

ところで、ビニールマルチをしました。マルチとはマルチングの略で、土の表面をわらやビニールで被覆することを言います。雑草や乾燥を防ぐとともに、泥はねによる病気の侵入も防ぎます。

次回の予定

日	時	作業の内容
平成18年4月15日	午前9時集合	つるなしインゲンの播種 ジャガイモの土寄せ

川崎市経済局農業振興センター 農業振興課

電話 044-860-2462

FAX 044-860-2464

週刊 伊藤農園

つるなしインゲンの種を蒔きました。種を蒔いてから約60日で収穫となりますので、今から楽しみです。収穫時期がいつ頃に訪れないようにするために、4回に分けて蒔くことにしました。ところで、今回蒔いた品種はタキイ種苗の“さつきみどり2号”です。品種の名前がどうやって決まるのか会議の様子をちょっとのぞいてみたいくなってしまいますね。

今週の作業（平成18年4月15日）

つるなしインゲン	元肥を施した畝にビニールマルチをし、マルチに穴を開けてそこに種を2粒蒔きました。
ジャガイモ	畝と畝の間に出た雑草を取り除きました。

写真館



インゲンの種まき

2粒蒔きます

誤食を防ぐため種に色をつけてあるらしい。

作業が終わった後、山のほうに散策に行きました。少し行くと池があります。水田用のため池で、早野は周りの川より高い位置にあるため、ため池が必要だそうです。奥のため池は、わざと水が漏れ出すようにしてあるそうで、そのため下流側は湿地となっています。ハンノキの林が広がり酸素やマイナスイオンが満ち溢れ？気持ちよかったです。

次回の予定

日 時	作業の内容
平成18年4月22日 午前9時集合	トマトの植え付け ジャガイモの追肥 つるなしインゲンの播種

川崎市経済局農業振興センター 農業振興課

電話 044-860-2462

FAX 044-860-2464

週刊 伊藤農園

4月22日が雨のため急遽日程を変更し実施しました。4月20日の強風、豪雨で先週張ったビニールマルチが飛ばされてしまい、伊藤さんと奥さんが張りなおしてくれました。ありがとうございます。

急な日程変更でこられなかった方もあったと思います。私も休んでしまいましたが、農業は天候しだい、今後も天気にも悩まされそうです。

今週の作業（平成18年4月23日）

つるなしインゲン	先週に引き続き種まき。
ジャガイモ	追肥
トマト	植え付け、植え付け後タンポールでトンネルを作り穴の開いたビニールを被せました。

写真館

お休みです

トマトは、南アメリカ原産で温暖な気候を好みます。生育の適温は日中で25位と言われています。ビニールは保温のために被せたものです。

また、6月に多雨・多湿な日本の気候でトマトは病気や裂果が多くなります。種苗会社では、病気や裂果に強い、日本の気候に合ったおいしいトマトを次々と作り出しています。スピードと成果を求める社会で、遺伝子組み換えに頼らず、交配を繰り返し優れた品種を作り出す種苗会社の真摯な姿勢に感心させられています。

次回の予定

日 時	作業の内容
平成18年4月29日 午前9時集合	スイカの植え付け つるなしインゲンの播種

川崎市経済局農業振興センター 農業振興課
電話 044-860-2462
FAX 044-860-2464

週刊 伊藤農園

伊藤さんの話では、数日前に霜が降りたということでした。4月25日には雹も降り、今年はなんだか天気の変ですね。多摩川沿いの梨園などでは、雹の被害があったようです。伊藤農園ではつるなしインゲンの発芽が少し悪いほかは大きな被害はなかったようです。霜でジャガイモが黒くなることもなく順調に育っています。

今週の作業（平成18年4月29日）

こまつな	除草
こかぶ	発芽が悪かったところに種を蒔いた。
スイカ	植え付け、前もって準備してあったビニールマルチに穴を開け、そこに植え付け上からビニールをかけた。
ジャガイモ さといも	除草
つるなしインゲン	播種

写真館



除草“農業の基本” スイカの苗



ビニールで被覆



畝間を鋤でさくる。

早野の隣、横浜市の寺家町にモリタヤというお団子屋さんがあります。金土日にはしか販売しないそうですが、午前中には売切れてしまうそうです。そこで売られている草団子ですが、すごいいいしかったです。ヨモギが初夏の香りっていった感じですね。5月14日までの限定販売だそうで、旬のものを旬にしか口にできないって、昔は当たり前のことなんだろうけど、今ではなんか贅沢って感じですね。

次回の予定

日	時	作業の内容
平成18年5月6日	午前9時集合	つるなしインゲンの播種
川崎市経済局農業振興センター農業振興課 電話 044-860-2462 FAX 044-860-2464		

週刊 伊藤農園

つるなしインゲンの発芽がよくありません。鳥に食べられたりしたそうです。最近では、鳥だけでなくハクビシンやアライグマの被害も確認されています。早野ではサルが出たなんて話も聞きました。山形でさくらんぼが盗まれたと話題になりましたが、川崎でも盗難があるようです。鳥獣のみならず人（泥棒）も、どう防げばいいのか…。

今週の作業（平成18年5月6日）

こまつな、こかぶ	除草、来週は間引けそうです。
トマト	ビニール被覆の撤去、支柱立て、誘引、腋芽かき、トマトトーン噴霧
スイカ	灌水、一部葉が焼けてしまいました。
ジャガイモ	追肥、除草
さといも	除草、一部発芽してきました。
つるなしインゲン	播種
レタス	苗の植付

写真館



トマトの支柱たて



誘引、やご取り



レタスの植付



焼けたスイカの苗

「トマトのやごとって下さい。」「えっ！やごって何？」
 やごは腋芽のことです。葉の腋から出てくる芽のことで、葉が混み過ぎることを防ぐために取り除きます。
 さて、農業では普段使われないような言葉が数多く登場します。やご＝腋芽のほか、うる抜き＝間引き、おっぺす＝押す（おっぺすは川崎だけかもしれません。）など、わからない言葉はどんどん聞いてみましょう。

次回の予定

日	時	作業の内容
平成18年5月13日	午前9時集合	サツマイモの植付準備 ネギの植付 コマツナの収穫
川崎市経済局農業振興センター 農業振興課 電話 044-860-2462 FAX 044-860-2464		

週刊 伊藤農園

雨です。雨にもかかわらず4家族が集まりました。外での作業はできないので、ビニールハウス内の除草を行いました。

さて、畑の様子ですが、つるなしインゲンに寒冷紗が掛けてありました。伊藤さんの話では、ハトが発芽したばかりの芽を食べてしまっていたので、つるなしインゲンの芽が出なかったということです。また、前回追肥したジャガイモがよく伸びていました。

今週の作業（平成18年5月13日）

こまつな	収穫（大きなコマツナを間引きました。）
ビニールハウス	ビニールハウス内の除草

写真館



インゲンに鳥除けの寒冷紗がしてある。



コマツナ収穫
大きなものを間引く



畑の様子

雨が続きますね。気温も低いし、太陽もあまり出ません。こんな年は、どんな作柄になるのでしょうか。病気も出やすいでしょうし、野菜の発育も悪くなりそうだし、あまりいいことはないでしょうね。こんな時は、水はけを良くするために溝を掘ったり、畑の中をなるべく歩かないようにして土を固めないようにしたりしたいですね。後はてるてる坊主をお願いするしかないんですかね。

次回の予定

日	時	作業の内容
平成18年5月14日	午前9時集合	サツマイモの植付準備 ネギの植付 コマツナの収穫

川崎市経済局農業振興センター農業振興課
電話 044-860-2462
FAX 044-860-2464

週刊 伊藤農園

雨で土曜日にできなかった作業を日曜日に行うことになりました(急な連絡で都合のつかなかった方も多いと思います。今後も、土曜日が雨の場合は日曜日に延期することになりました。)。雨も無事上がり、曇り空で絶好の除草日和? みんなで約 1,500 m² (約 500 坪) の除草をしました。大変な作業でしたが体に溜まった毒が汗と一緒に出たことと思いますよ(私だけ?)。

今週の作業 (平成18年5月14日)

こまつな コカブ	収穫 (大きなコマツナを間引きました。) 間引き (約 5 cm 間隔にする。)
つるなしインゲン	播種
トマト	ござ敷き (雑草、乾燥防止)
除草	大きい畑の除草 こっこの畑にサツマイモ、ねぎを植える。

写真館



トマトのござ敷き

インゲン播種

コマツナ、コカブ 収穫

除草

ジャガイモの生育が急に良くなりました。先週の追肥の効果だと思います。トマトにも追肥をしたそうです。トマトは育ちすぎても良くないそうで、生育状況を確認しながら加減するそうです。農家の経験と勘なのでしょうが、こういうところが農業の難しさのひとつなんだと思います。料理の塩梅と一緒にですね。これが PRO の技!

次回の予定

日 時	作業の内容
平成 18 年 5 月 20 日 午前 9 時 集合	サツマイモの植付準備 ネギの植付 コマツナの収穫 コカブの間引き
川崎市経済局農業振興センター 農業振興課 電話 044-860-2462 FAX 044-860-2464	

週刊 伊藤農園

久しぶりの晴れとなりました。日照不足の影響で農作物の生育が遅れているといった報道がされていますが、野菜の値が上がるんですかね？トマトなどは色づかないんでしょうね。伊藤農園では、コマツナが収穫期になっています。生育が遅れているのかわかりませんが、日々成長しています（雑草もね。）。硬くなる前に採らなくちゃ。

今週の作業（平成 18 年 5 月 20 日）

コマツナ	収穫（大きなコマツナを間引きました。）
除草後の片付け	大きい畑で先週除草したものの片付け
トマト、スイカ	釣り糸でカラス対策

写真館



コマツナの収穫

コマツナ

鳥除けをしました。

サトイモの芽

雑草の生長がすごいですね。日照不足の影響は雑草にはないんですかね。スギナ、ハコベ、ホトケノザなどが多いです。堆肥の中に種が混じっているらしく、おいしい野菜を採るための税金のようなものなんですかね。雑草も出ないような畑の野菜はあんまり魅力感じませんしね。おいしい野菜を収穫するための除草という戦いがこれからしばらく続きそうです。

次回の予定

日 時	作業の内容
平成 18 年 6 月 3 日 午前 9 時集合	サツマイモの植付準備 ネギの植付 コカブの収穫
川崎市経済局農業振興センター 農業振興課 電話 044 - 860 - 2462 F A X 044 - 860 - 2464	

週刊 伊藤農園

コマツナが大きくなりすぎてしまいました。おいしい時期を逃してしまいもったいないことをしました。

さて、今回は田植えをしました。田んぼに入った感触はいかがだったでしょうか。昔を思い出した人、初めてで気持ち悪く思った人、色々あったと思います。少しの体験ですが、田植えの大変さを分かっていただけだと思います。

今週の作業（平成18年6月3日）

コカブ、コマツナ	収穫（取り払い）
スイカ	追肥（ぬか等） 黒シート敷き
除草	
稲	田植え

写真館



コカブの収穫

コカブ

スイカの黒シート敷

田植え

“田植え”は、戦後間もないころまでは手で植えていたそうです。老人から子供まで家族を始め地域総出だったんでしょうね。伊藤さんも子供のころ、両脇の大人にお尻を叩かれながら田植えをしたとか。

ところで稲はなぜ水田で作るのでしょうか。水田には雑草の発生を抑える、肥料の効き方を調節する、温度を一定に保つといった効果があるそうです。ただ、ずっと水に浸しておくとも酸素欠乏で生育不良となります。時期によって水田に水がないことも。生育の様子を見ながら水の深さを変えているので、注意してみてください。

次回の予定

日 時	作業の内容
平成18年6月10日 午前9時集合	サツマイモの植付準備 ネギの植付

川崎市経済局農業振興センター 農業振興課

電話 044-860-2462

FAX 044-860-2464

田植え



千葉の棚田で田植え経験のある藤田さんから、経験によって得られた注意点を聞く。藤田さんは田植え後に足を洗うのに使う“すのこ”を作ってくれました。



伊藤さんの説明を聞く利用者

田の両端から糸を張り、糸に沿って 20 cm 間隔に苗を 4 ~ 5 本束ねて植える。糸を張る間隔は 30 cm



稲の苗

4月20日頃蒔いた種は、約20cmの苗に育っていました。



田植え開始です。

最初はなれない足元に戸惑い気味です。伊藤さんはこの様子を見て、“これは、日が暮れても終わらないな。”と言っていました。



田の両端から張った糸に沿うように苗を植えていきます。

田植えも半分を過ぎペースが上がってきました。



何とか終わりました。暗く夕方のように感じますが、まだ午前11時30分です。約1時間の作業でした。

皆さんご苦労様でした。

週刊 伊藤農園

ネギ、サツマイモの植付を行いました。ネギの種は、伊藤さんが自分で採取し、サツマイモの苗も自家で作ったものだそうです。また、味を良くするため稲わらと米ぬかを使用しました。わらとぬかは米の副産物で、捨てずに無駄なく使うといったところ、自然由来の肥料でおいしい農産物を作るところは、なんか口ハスっぽいですね。

今週の作業（平成18年6月10日）

ネギ	植付：畝間 90 cm 2 か月くらい後に土寄せをします。
サツマイモ	植付準備：畝間 75 cm、株間 35 cm位 苗がそろわないので、伊藤さんが徐々に植えていくそうです。

写真館



ネギの植付



サツマイモ植付準備



サツマイモの苗



農機具の清掃

サツマイモの花って見たことありますか？たぶんないと思います。サツマイモは花を咲かせるのに一定時間以下の昼の長さを必要とする短日植物で、日長が短くなると花芽分化し開花します。ところが日本では、花を咲かせる前に気温が低くなり開花に至ることはほとんどありません。だからサツマイモの花を見たことがなくて当然なのです。花が咲かないので当然種も出来ません。では、どのように品種改良するのでしょうか。キダチアサガオという植物を台木に接木をし、花を咲かせ交配するそうです。キダチアサガオで花を咲かせる物質（花成ホルモンと言われている。）を生成し、その物質がサツマイモに花を咲かせていることが想像できます。

この花成ホルモンが開花に関係しているという学説は、1937年に提唱されていますが、花成ホルモンの特定は現在までされていません。昨年8月に京都大学で、ある遺伝子の働きが開花に関係していることを突き止めたという報道がありました。この遺伝子が作るたんぱく質が花成ホルモンでは？ということです。季節に関係なく花を咲かせる技術の確立に期待がかかっています。年中花見なんてことも…。年1回のほうが盛り上がりませぬ。

次回の予定

平成18年6月17日（土）

午前9時集合

週刊 伊藤農園

トマトが色づき始めました。100本のトマトが植わっていますが、収穫方法も決まり、収穫はもちろん芽欠きも自分たちで行うようになります。トマトの収穫楽しみですね。“トマトを食べてさらさら血になろう！”，なんてね。作業が分からない人は伊藤さんや当センターに聞いてください。

今週の作業（平成18年6月17日）

ジャガイモ	除草 一部ジャガイモが顔を出していました。順調に大きくなっているようです。2週間後には収穫できるだろうとのこと。
トマト	誘引、芽欠き、摘芯、一部収穫
インゲン	一部収穫
レタス	一部収穫

写真館



トマトの摘芯

ジャガイモ除草

レタスの収穫

みんな楽しみスイカ

“朝どり野菜”，なんで朝なの？
朝どり野菜 = 新鮮だから？
夏は気温が高く、野菜の温度も高くなります。昼に収穫すると野菜が熱くなり傷みやすくなります。
また、植物は夜に多くの養分蓄えるそうです。夜大きくなり昼少し縮むことを繰り返して大きくなるそうです。3歩進んで2歩下がっているんですね。だから、朝は養分いっぱい。そしてみずみずしくておいしいんです…たぶん。
朝どり野菜 = 高品質なのかな。
冬は昼過ぎに収穫したほうがいいことも。その話はまた今度します。

次回の予定

日	時	作業の内容
平成18年6月24日	午前9時集合	つるなしインゲン収穫 除草

川崎市経済局農業振興センター 農業振興課

電話 044-860-2462

FAX 044-860-2464

週刊 伊藤農園

暑さが厳しくなってきました。対策としてサマータイム?を導入することにしました（開始を 1 時間早くするだけのことですけどね）。少しは違うと思いますが暑いことには変わりないと思います。自分の体力にあった休みをとり、また、水分を補給しながら農作業してください。

今週の作業（平成 1 8 年 7 月 1 日）

ジャガイモ	収穫 メークイン 123 kgの収穫がありました。 先週の男爵は 104 kgだそうです。
トマト	一部収穫
インゲン	一部収穫
ネギ	除草
サツマイモ	除草、追肥（米ぬか+ ）

写真館



インゲン収穫

ジャガイモ収穫

トマト

社、サマ任除草

ジャガイモがいっぱい採れました。肉じゃが、粉吹きいも、レンジでチン等色々な食べ方がありますが、気になる話をひとつ。スウェーデン食品庁が、ジャガイモのように炭水化物を多く含む食材を高温で加熱した食品（例えばフライドポテトやポテトチップス）に、アクリルアミドという化学物質が高濃度で含まれているということを平成 14 年 4 月に発表しました。このアクリルアミドという化学物質は、国際がん研究機関による発がん性分類において 2 A（人に対しておそらく発がん性がある）に分類されています。食事内容や調理方法を変える必要はないようですが嫌な話ですね。油の温度を 10 度下げるとアクリルアミドの生成量は半分以下に減るなんて研究結果を厚生労働省研究班がまとめたといった報道を先日見ました。揚げすぎできつね色の濃いポテトチップスは食べないほうがいいかもしれませんね。食べすぎもいけませんね。

次回の予定

日	時	作業の内容
平成 18 年 7 月 15 日	午前 8 時集合	ニンジンの播種
川崎市経済局農業振興センター農業振興課 電話 044-860-2462 FAX 044-860-2464		

週刊 伊藤農園

高校野球の地区予選が始まりましたね。暑い夏がやってくるんだなって感じですね。さて、夏野菜の収穫が盛期を迎えました。来週はいよいよスイカの収穫です。おいしい野菜を食べて、食事をバランスよくとって夏を健康で乗り切りましょう。そして夏をいっぱい楽しんじゃいましょうね。

今週の作業（平成18年7月8日）

サトイモ	追肥
トマト	収穫、腋芽とり
インゲン	収穫
ニンジン	播種

写真館



サトイモ追肥



ニンジン播種



雨よけの寒冷紗



スイカ

しそ味噌の作り方を聞きました。にんにく、しょうがのみじん切りをなべに敷いて、しそを刻んだもの、味噌、酒、砂糖を入れて火にかけ練っていきます。これがすごいおいしくて、万能調味料となります。茹でたインゲンにからめて食べたらいいしかったですよ。

さて、インゲンがいっぱい採れますね。茹でてマヨネーズ、しょうが醤油などおいしい食べ方がいっぱいあります。しかし、同じ食べ方だと飽きてしまうでしょう。皆さんでいろいろな味付けを交換できるのも体験型農園のいいところですね。私もいろいろ聞いて試してみますのでどんどん情報を下さい。

次回の予定

日 時	作業の内容
平成18年7月15日 午前8時集合	スイカ一部収穫 インゲン収穫

川崎市経済局農業振興センター農業振興課
電話 044-860-2462
FAX 044-860-2464

週刊 伊藤農園

スイカを収穫しました。50個以上収穫できました。これでも普段の年より少ない(3分の1くらい)そうです。5月の曇天で花が咲いても結実しなかったようです。さて、採れたスイカの味ですが、最近天気がいいことから甘くておいしく、汗をかいた体にどんどん吸い込まれていきました。

今週の作業(平成18年7月15日)

スイカ	収穫
トマト	収穫
インゲン	収穫
ネギ、サツマイモ	除草

写真館



スイカの収穫



インゲンの収穫



採ったスイカで水分補給



ネギ・サツマイモの除草

インゲンの花に毎朝霧吹きで水をかけているそうです。

インゲンは、30℃を超える高温下で花芽の発育は停止し、結莢率が著しく低下するそうです。開花しても結莢しなくなるんですね。そこで、水をかけることで温度を低くし結莢を促進させているんですね。細かい作業で目にとまることはありませんが、こういった努力が収穫期を伸ばしているんですね。いやー、農業は奥が深い。

次回の予定

日 時	作業の内容
平成18年7月22日 午前8時集合	トマト収穫 インゲン収穫

川崎市経済局農業振興センター 農業振興課

電話 044-860-2462

FAX 044-860-2464

週刊 伊藤農園

なかなか梅雨が明けませんね。21日発表の気象庁1か月予報では、初めは曇りや雨の日が多いそうです。来週からは平均気温は平年並みか高いとのことですので、梅雨明けは来週くらいですかね？曇りや雨の日が多いため、米や野菜で病気の発生が多くなりそうだといい話もあるので、早く梅雨明けとなるといいですね。作業は曇りのほうが楽なんですけどね。

今週の作業（平成18年7月22日）

トマト・インゲン・スイカ	収穫
にんじん	除草

写真館



収穫期のスイカ

インゲン

ここからニンジンだけを残して草むしり

日本の食料自給率（カロリーベース）は、40%だそうです。食料の6割を輸入に頼っていることとなります。さて、米が不作で、食糧の輸入もストップしたらどうなるのでしょうか。「不測時の食料安全保障マニュアル（平成14年3月25日農林水産省決定）」に対応が書かれています。細かいことは述べませんが、備蓄食料を活用したり、現在利用されていない農地を利用することで増産したりするそうです。また、平成27年度に見込まれる農地面積、農業技術水準のもとで、生産転換（例：果樹 いも類）などを行えば、一人一日当たり2,020kcal（昭和20年代後半の水準のカロリー）供給も可能とのことですね。不測時でも生命は大丈夫ですよということですね。もっとも現在の食生活とは大きく変わって、1日のメニュー例（昼食）を見ると、焼きいも2本、蒸かしいも1個、りんご1/4個ですって。カロリーは満たされるんでしょうけど・・・って感じですね。日ごろから食料や農業・農地のことに関心に向け、価値を再認識し、食糧を生産する農業・農地を守るために、地元の野菜を購入するとか、食生活を見直すとか、個人でもできることから実施していきたいですね。

次回の予定

日	時	作業の内容
平成18年7月29日		トマト収穫
午前8時集合		インゲン収穫

川崎市経済局農業振興センター農業振興課
 電話 044-860-2462
 FAX 044-860-2464

週刊 伊藤農園

関東地方も7月30日に梅雨明けとなりました。梅雨明けの特定がされなかった平成5年を除くと、記録が残る中では5番目に遅い梅雨明けだそうです。ちなみに平成5年は冷夏で「平成の米騒動」といわれた米不作の年でした。梅雨明け後の8月は平年並みの気温となるようで、夏本番暑い毎日が出てくるんですね。

今週の作業（平成18年7月29日）

トマト、インゲン	収穫
スイカ	片付け
ネギ、サツマイモ	除草

写真館



インゲンの収穫

スイカの片付け

除草

炎天下での除草は本当に大変です。日差しは強いし地面からの照り返しもあるし、過酷な暑さです。そんな中、「立ち上がると涼しい風が来て気持ちいい。」といった声がありました。そうなんです、早野には水田があり、水田を通過する風は周りより温度が低いんです。2 くらい低くなるといったデータもあり、天然のクーラーといったところでしょうか。水田には他に大雨などのときに水を蓄える治水機能もあり、食料生産だけでなく、治水や気温の緩和などの機能が注目されています。

次回の予定

日 時	作業の内容
平成18年8月5日 午前8時集合	トマト収穫 インゲン収穫

川崎市経済局農業振興センター 農業振興課
 電話 044-860-2462
 F A X 044-860-2464

週刊 伊藤農園

3日前(8月2日)に伊藤さんがキャベツとブロッコリーの種を蒔いたと
のことです。寒冷紗に覆われた中をのぞくとかわいらしい双葉がでていまし
た。約1ヶ月後に定植、11月初めころに収穫できることを説明していただ
きました。夏の野菜の収穫も一息つき、冬野菜の準備がこれからの作業の中
心となります。

今週の作業(平成18年8月5日)

トマト、インゲン	収穫 灌水
ニンジン	除草 灌水
ネギ、サツマイモ	除草
サトイモ	灌水

写真館



サトイモ灌水

除草

インゲン収穫

キャベツの双葉

草むしりの最中、「雑草も食べられればいいのに。」なんて話になりました。実は、雑草にもおいしく食べられるものがあるんです。スベリヒユはこれから増えてくる雑草ですが、おひたしにして食べると、少し酸味があり、ねばねばしてまあまあいけます。雨が降らない日が続いてもこの雑草だけは枯れずに広がり、非常に邪魔な存在ですが、食べられるんです。スベリヒユを乾燥させて保存食にするところもあるらしいですよ。また、アカザの葉もハウレンソウ(同じアカザ科)に似た味で食べることができます。ちょっと試してみては?

次回の予定

日	時	作業の内容
平成18年8月19日	午前8時集合	未定
川崎市経済局農業振興センター 農業振興課 電話 044-860-2462 FAX 044-860-2464		

週刊 伊藤農園

トマトの片づけをしました。6月中旬から始まった収穫も終わりを迎えました。今年は7月に日照が少なく、着色が進まない年でしたが、伊藤農園のトマトは非常に良くできました。果実がぎっちり詰まっていて甘味も強くおいしいトマトでした。

今週の作業（平成18年8月19日）

トマト	収穫 片付け
ニンジン	除草 播種

写真館



ニンジン除草



トマトの片付け



ニンジンの種（コティグ）



ニンジン追加は種

トマトは“おどりこ”というサカタ交配の品種で、完熟系の品種でした。肉質もしっかりしていてほどよい酸味がトマトの味といった感じでおいしかったですね。

トマトはカロチノイドを多く含む緑黄色野菜の仲間ですが、カロチノイド類のリコピンに最近注目が集まっています。リコピンはトマトや柿に多く含まれ、抗酸化作用が大きいといわれています。がんを予防するという報告も欧米を中心にされています。そんな優れたもののリコピンですが、サプリメントとしての商品化はされていないようです。日常の食生活で摂取するしかないんです。

次回の予定

日 時	作業の内容
平成18年8月26日 午前8時集合	未定
川崎市経済局農業振興センター 農業振興課 電話 044-860-2462 F A X 044-860-2464	

週刊 伊藤農園

ハクサイ、ダイコンの播種準備をしました。畑に黒マルチを敷いて、植付場所に穴を開けました。ハクサイを植えるところは40cm間隔、ダイコンは30cm間隔に穴をあけました。わざわざ穴あきのマルチを使わないのは、作物によって植える間隔が違うことを知って欲しい伊藤さんの配慮なんです。

今週の作業（平成18年8月26日）

ダイコン・ハクサイ	播種準備（施肥、マルチ張り）
ネギ	除草、土寄せ
サツマイモ	除草、つる返し

写真館



鍬使いの指導

大根、白菜用のマルチ

ネギの土寄せ

山の作り方

ニンジンに寒冷紗が掛けてありました。発芽したニンジンが枯れてしまったため、追加で種を蒔きましたが、なぜ枯れてしまったかという、除草によってニンジンが傷つき枯れてしまったということです。傷ついたニンジンが布団（寒冷紗）をかぶって寝込んでいる状態といったところでしょうか。寒冷紗には、直射日光を防ぐ、土の乾燥を防ぐ、害虫の侵入を防ぐといった効果があります。

次回の予定

日 時	作業の内容
平成18年9月2日 午前8時集合	ハクサイ、ダイコン播種 キャベツ、ブロッコリー定植

川崎市経済局農業振興センター 農業振興課

電話 044-860-2462

FAX 044-860-2464

週刊 伊藤農園

ハクサイ、ダイコンの播種をしました。1箇所に3粒蒔きました。これは、発芽しない種や枯れてしまうものが出て、大丈夫のように予備を取っておくことと、「ともそだち」といって、1本より数本のほうが初期の生育がいいといった性質を生かすためです。時期を見て1本にしますが、そのとき抜いてしまうハクサイやダイコンは間引き菜としてとてもおいしく食べることができます。

今週の作業（平成18年9月2日）

ダイコン・ハクサイ	播種
ネギ	除草、土寄せ
サツマイモ	除草、つる返し

写真館



ハクサイ、ダイコンの播種

キャベツ、ブロッコリーの植付

ネギの土寄せ

ネギの土寄せがやり直しとなりました。この作業はただネギに土をかぶせるのではなく、次回の作業を見越して行います。

ネギの土寄せは、3回位に分けて行います。徐々に土を被せることによって、ネギの白い部分を長くしていきます。ただ、いっぺんに土を被せすぎてしまうとネギが太くならないので、加減が難しいです。伊藤さんの話では、ネギを中心にMの字を書くようにすれば、山になった部分が徐々に崩れてネギに土が被さりいいものができるということです。2回目、3回目の土寄せでもMの山の部分に土を盛っていけば、簡単に作業ができます。

次回の予定

日	時	作業の内容
9月9日(土)	午前8時	

川崎市経済局農業振興センター 農業振興課
 電話 044-860-2462
 FAX 044-860-2464

週刊 伊藤農園

稲刈りをしました。穂に青い籾が 2 粒くらいあるところが稲刈りの適期だそうです。稲刈りした稲は、12 株を 1 把にして縛り、かけ干しで 1 から 2 週間干し、脱穀、もみすりを行って玄米とします。手作業での稲刈りは、本当に大変だったと思います。

今週の作業 (平成 18 年 9 月 16 日)

稲刈り

写真館



稲穂

稲刈り

かけ干し

手作業で稲刈りをしました。鎌で稲を刈り、かけ干し。昔ながらの田園風景で、秋を感じさせるいい風景ですね。隣接する田で、稲刈り機での稲刈り、コンバインでの稲刈りを見ることができました。稲刈り機では、稲刈りと結束、コンバインでは、稲刈りと脱穀を同時に行います。機械ってすごいですね。手作業では何時間もかかる作業をあっという間に終わらせてしまいます。ただ、コンバインによる稲刈りが多くなると、かけ干しの風景はなくなってしまい、ちょっとさびしい気がしますけどね。

次回の予定

日 時	作業の内容
9 月 30 日 (土) 午前 8 時	葉物の間引き

川崎市経済局農業振興センター 農業振興課
電話 044 - 860 - 2462
FAX 044 - 860 - 2464

週刊 伊藤農園

彼岸も過ぎだいぶ涼しくなってきました。何をするにもいい季節になり、次回からは 9 時集合となります。7 月に始まった 8 時集合は終わりです。これから収穫も多くなってきますし、食べ物もおいしい季節です。農作業に汗を流し、収穫の秋を思いっきり満喫しましょう。

今週の作業（平成 1 8 年 9 月 3 0 日）

コマツナ、シュンギク、コカブ	播種
ダイコン、コマツナ、コカブ	間引き ダイコンは 1 本に、他は 3 c m 位の間隔にしました。
米	脱穀

写真館



ダイコンの間引き

間引き菜

脱穀機（ハーベスタ）で藁と籾に分けられる

米の品種のお話をします。伊藤農園で作った米は、キヌヒカリという品種で神奈川県のおすすめ品種となっています。キヌヒカリは、コシヒカリと同等の食味で、コシヒカリに比べ草丈が低いので倒伏しにくく、また、病気に強いのが特徴です。さて、この草丈の低い特徴ですが、IR8 という品種の米の性質を引き継いでいます。IR8 は、フィリピンにある国際稲研究所（IRRI）で 1966 年に育成された品種で、育成当時は従来の品種の倍の収量があるということで「奇跡の米」といわれました。IR8 は草丈が低いので、育ちすぎによる倒伏の心配がなく多肥による栽培が可能となり多収量となったのです。また、キヌヒカリの 3 代前はコシヒカリで、味の面では、コシヒカリの性質を受け継いでいます。

次回の予定

日 時	作業の内容
10 月 8 日（日） 午前 9 時	コマツナ収穫

川崎市経済局農業振興センター農業振興課
電話 044-860-2462
FAX 044-860-2464

週刊 伊藤農園

日曜日は久しぶりに風もなくいい天気、空がとっても高く気持ちのいい日でした。そんななか、伊藤農園では、秋の味覚サツマイモの収穫を行いました。いっぺんに全部では食べきれないので、先に植え付けを行った1作を掘り、また、葉柄の部分も収穫しました。食べるのが楽しみです。さて、あまったツルの部分等かというと、牛の飼料となるそうです。まったく無駄がないんですね。

今週の作業（平成18年10月8日）

コマツナ	収穫
コカブ、シュンギク	間引き
サツマイモ	収穫
ネギ	土寄せ

写真館



久しぶりの秋空 コマツナなどの間引 サツマイモの収穫 ネギの土寄せ

今回収穫したサツマイモの品種は、ベニアズマという品種です。農林水産省旧農業研究センター（茨城県つくば市）で育成されました。病気に強く、良質多収の品種で、名前は、いもの皮色が鮮やかな赤で、関東で広く適応することが期待されるため、昭和59年に名づけられたということです。今では全国で栽培が広がっており、サツマイモの主力品種となっています。

次回の予定

日 時	作業の内容
10月14日（土） 午前9時	ネギの播種

川崎市経済局農業振興センター 農業振興課
 電話 044-860-2462
 FAX 044-860-2464

週刊 伊藤農園

柿の実も赤く色づいてきました。早野に多くある柿は、禅寺丸という品種です。禅寺丸は 1214 年に王禅寺で偶然発見された品種で、日本最初の甘柿といわれています。鎌倉時代からかわらない味が引き継がれてきたんですね。ちょっと小ぶりで種が多くて食べにくいけど、甘みが強く、なんか懐かしい味ですね。

今週の作業（平成 18 年 10 月 14 日）

コマツナ	収穫
コカブ、シュンギク	間引き
イチゴ	定植

写真館



コマツナ収穫 収穫物の分配 イチゴの定植 獣にかじられたイモ

イチゴの定植を行いました。収穫は 5 月くらいとなります。さて、植付の際、ランナーが内に来るように植えてくださいと指導がありました。ランナーとは、親株とつながっていた茎のことで、イチゴの花はこのランナーの反対側に出ます。花の出る方向を外側にそろえると実は全て外側にできることになり、収穫がしやすくなります。次の作業をしやすくなるように工夫されているんですね。

イチゴの繁殖は、主にランナーから伸びた株で行います。ランナーは 6 月ころ収穫中の株から出てきます。このランナーから伸びた株を利用し、種による繁殖は、品種改良以外ほとんど行われません。

次回の予定

日 時	作業の内容
10 月 21 日（土） 午前 9 時	サツマイモ収穫 コマツナ、コカブ収穫

川崎市経済局農業振興センター 農業振興課
電話 044-860-2462
FAX 044-860-2464

週刊 伊藤農園

作業後の焼き芋、大変甘くおいしかったです。サツマイモのでんぷんは 60 くらいの熱で長時間加熱すると酵素の働きで糖にかわります。甘くなるんですね。同じ芋でも調理方法によって味が変わるんですね。ちょっとした贅沢ですね。

今週の作業（平成18年10月28日）

コカブ、シュンギク、ダイコン、ニンジン、キャベツ、ブロッコリー、ネギ

写真館



収穫

収穫

ダイコン

作業後のお楽しみ

ブロッコリーは、地中海沿岸が原産地といわれ、カリフラワーの原型と考えられています。日本には明治初期に導入されましたが、初めはほとんど普及することはなかったようです。しかし、カリフラワーより栽培も採種も容易で、栄養価の高い緑黄色野菜として評価も高く、タレントのみのもんたさんの番組では、ブロッコリースプラウト（種から出たばかりのブロッコリーの芽）には、がんを予防する効果があるとか、ブロッコリーは胃粘膜を強くするビタミン U を多く含むとか栄養面の評価が高くされています。栄養価のみならず、採れたてのブロッコリーをすぐ茹でたものは、味も最高です。

次回の予定

日	時	作業の内容
11月4日（土）	午前9時	収穫
川崎市経済局農業振興センター農業振興課 電話 044-860-2462 FAX 044-860-2464		

週刊 伊藤農園

晴れの日が続きますが、横浜地方気象台の観測では、10月6日に台風の影響で大雨が降って以来しばらく雨が降っていません。畑では珍しく灌水をしました。雨が降れば一気に生長するんでしょうけど、野菜は少し生育が遅いのかなといった感じです。

今週の作業（平成18年10月21日）

コマツナ、コカブ、シュンギク、ニンジン、ダイコン、サツマイモ、ネギ

収穫

葉物

灌水

写真館



収穫

収穫

収穫

灌水

ダイコン、コマツナ、コカブ、ニンジン、シュンギク、サツマイモ、ネギの収穫をして、今日は鍋かな？なんて話もありました。収穫物も多くなり、食べ方を考えるのも楽しくなってきましたね。今後収穫が続く同じ食べ方を続けると飽きてしまうと思います。おいしく食べ続けるため皆さんで食べ方の情報交換をすると楽しいですね。私も皆さんから色々聞いて、例えばサトイモの根をきんぴらにして食べるとおいしいとか、こういったものをみんなで楽しめたらなと思い、ホームページに載せたりしています。いろんな食べ方で野菜をおいしく食べたいですね。いろいろ情報を下さい。

次回の予定

日	時	作業の内容
10月28日(土)	午前9時	コカブ収穫

川崎市経済局農業振興センター農業振興課
 電話 044-860-2462
 FAX 044-860-2464

週刊 伊藤農園

作業後の焼き芋、大変甘くおいしかったです。サツマイモのでんぷんは 60 くらいの熱で長時間加熱すると酵素の働きで糖にかわります。甘くなるんですね。同じ芋でも調理方法によって味が変わるんですね。ちょっとした贅沢ですね。

今週の作業（平成18年10月28日）

コカブ、シュンギク、ダイコン、ニンジン、キャベツ、ブロッコリー、ネギ

写真館



収穫



収穫



ダイコン



作業後のお楽しみ

ブロッコリーは、地中海沿岸が原産地といわれ、カリフラワーの原型と考えられています。日本には明治初期に導入されましたが、初めはほとんど普及することはなかったようです。しかし、カリフラワーより栽培も採種も容易で、栄養価の高い緑黄色野菜として評価も高く、タレントのみのもんたさんの番組では、ブロッコリースプラウト（種から出たばかりのブロッコリーの芽）には、がんを予防する効果があるとか、ブロッコリーは胃粘膜を強くするビタミン U を多く含むとか栄養面の評価が高くされています。栄養価のみならず、採れたてのブロッコリーをすぐ茹でたものは、味も最高です。

次回の予定

日	時	作業の内容
11月4日（土）	午前9時	収穫

川崎市経済局農業振興センター農業振興課
 電話 044-860-2462
 FAX 044-860-2464

週刊 伊藤農園

秋の収穫シーズンも最盛期となりました。そこで収穫祭を 11 月 25 日に実施することになりました。「農作業で汗を流し、収穫をする。」「作物の生育を見る。」これも楽しみですが、やっぱり一番は食べることでよね。それもおいしくね。収穫祭、すごい楽しみですね。

今週の作業 (平成 18 年 11 月 4 日)

シュンギク、ダイコン、ニンジン、キャベツ、ブロッコリー、ネギ

収穫

いちご

追肥

写真館



収穫

収穫物

ブロッコリーの腋芽

鍬の練習

キャベツは、ブロッコリー同様地中海沿岸が原産地といわれ、日本には伝わったのは江戸時代末期といわれています。最初、食用としてはあまり普及しなかったらしいんですが、銀座の洋食屋がとんかつの付け合せとしてキャベツの千切りを添えたことで、とんかつとともに普及したということです。キャベツには、胃の粘膜を強くするビタミンUが多く含まれているので、油っぽいとんかつとは食べ合わせもいいんでしょうね。キャベツの名前の由来は、古いフランス語でカボッシュから来ているといわれています。「頭」とか「頭でっかち」とかっていう意味だそうです。ちなみにフランス語でキャベツのことはシュールといいますが、ケーキのシュークリームは、フランス語と英語を組み合わせた和製語です。確かにキャベツみたいな格好ですね。

次回の予定

日	時	作業の内容
11月11日(土)	午前9時	収穫

川崎市経済局農業振興センター 農業振興課
 電話 044-860-2462
 FAX 044-860-2464

週刊 伊藤農園

今日は収穫祭です。今日収穫した野菜をたくさん入れて豚汁を作りました。サトイモ、ダイコン、ハクサイ、ニンジン、ネギは伊藤農園産です。天気にも恵まれ大変おいしく食べることができました。野菜さん、おいしく食べさせていただき、どうもありがとうございます m(_ _)m。

今週の作業（平成18年11月25日）

ネギ、ニンジン、ハクサイ、ダイコン、ブロッコリー	収穫
イチゴ	除草

写真館



収穫

イチゴの除草

豚汁

収穫物

野菜の収穫が続いています。今年はまだ暖かいので強い霜もほとんど降りませんが、今後寒さが厳しくなり朝霜が降るようになると、農作物も凍るようになります。霜よけの工夫をしたりして作物を守ったり、収穫の時間を遅くしたりして対応していく必要があります。ダイコンやコマツナ、ホウレンソウなどは、朝凍っているうちに収穫してしまうと、味も落ちますし、痛みもひどくなります。これらの作物は、凍ったものが自然に溶ける昼こりに収穫するといいですね。なんでも朝採りが良いわけではないんです。冬の朝採りには注意が必要ですね。

次回の予定

日 時	作業の内容
12月2日(土) 午前9時	収穫

川崎市経済局農業振興センター農業振興課
 電話 044-860-2462
 FAX 044-860-2464

週刊 伊藤農園

11月18日のサトイモの収穫の写真です。私は当日休んでしまいましたが、伊藤さんから写真をいただきました。さて、収量ですが80kgで、1株当たり2kgだったそうです。



今週の作業（平成18年12月2日）

ネギ、ニンジン、ハクサイ、
ダイコン、ブロッコリー、
ハウレンソウ

収穫

写真館



収穫

収穫

収穫物の分配

収穫物

次回の予定

日	時	作業の内容
12月16日(土)	午前9時	収穫

川崎市経済局農業振興センター農業振興課

電話 044-860-2462

FAX 044-860-2464

週刊 伊藤農園

収穫もほとんど終わり、畑も寂しくなってきました。だんだん寒くなり、作物に寒さの備えが必要となります。今日ハクサイの頭を縛りましたが、霜の害を防ぐためです。こうすることによって霜で芯が凍ることを防ぐんですね。また、1月中旬ころ収穫することになりますが、そのころには甘さも増しておいしくなるそうです。

今週の作業（平成18年12月16日）

ネギ、ニンジン、ハクサイ、**収穫**
ダイコン、ブロッコリー、
ハウレンソウ

写真館



収穫

ハクサイ

ネギの収穫

ネギ

次回の予定

日	時	作業の内容
12月23日(土)	午前9時	収穫、餅つき

川崎市経済局農業振興センター農業振興課
電話 044-860-2462
FAX 044-860-2464

週刊 伊藤農園

朝、霜が降りていました。久しぶりに寒い朝となりましたが、天気もよく昼前には、ぽかぽか陽気となりました。今日は、伊藤さんのご好意で餅つきを行うことになりました。畑で採れたダイコンのからみ餅はほんとうにおいしかったです。

今週の作業（平成18年12月23日）

ニンジン、ネギ、ダイコン、 収穫

コカブ、ブロッコリー

餅つき

写真館



朝の畑 霜だらけ



ニンジンの収穫



農具の片付け



餅つき

次回の予定

日	時	作業の内容
1月20日(土)	午前9時	

川崎市経済局農業振興センター農業振興課

電話 044-860-2462

FAX 044-860-2464

週刊 伊藤農園

1年間続いた伊藤農園も今日で最後です。畑をきれいにし、来年の準備をしました。また来年もよろしくっていった感じですね。本当においしい野菜を1年間ありがとうございました。園主の伊藤さん本当にありがとうございました。

今週の作業（平成19年1月20日）

ニンジン、ネギ、ブロッコリー 収穫

土作り 堆肥+米ぬかを施しました。

写真館



ブロッコリーの脇芽の収穫

堆肥+ぬかを撒いて来年に向けての土作り

次回の予定

日	時	作業の内容

川崎市経済局農業振興センター農業振興課
電話 044-860-2462
FAX 044-860-2464